

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム じゅらくだい

作成日：平成 30年 02月 20日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	行政委職員・地域の民生委員が参加しているが、メンバーが固定化しているため、有識者等の参加委員の増員を図り、視点の異なる意見を取り入れながら、活発な会議内容になるよう取り組んでいく。また新たに得た知識や情報を、参加委員全体で共有し合えるような会議となるよう取り組み、ホーム運営に活かしていく。	他施設(ホーム)の職員・有識者・複数の民生委員・薬剤師・派出所の警察官などへ参加委員を募り、会議の活性化を図っていく。 ホームの運営だけでなく、参加委員・地域の福祉活動にも貢献できる体制づくりを整えていく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出支援	公園や買い物などへの外出は行えているものの十分とは言えない。また、重度化に伴い、全員で外出することが困難となっているが、少人数や個別で外出ができるような取り組みを行う。	家族や地域からの支援を得ながら、利用者の希望に添った外出支援を行い、できるだけ多くの外出の機会を得られるよう、家族への協力を依頼する。公園が近くにあることや市の中心にあることを活かした散歩や外出の機会を、もっと増やし、四季の移り変わりを五感で感じ、生きる力を引き出す支援に取り組む。	12ヶ月
3	47	入浴を楽しむことの出来る支援	週3回、午前中より入浴をしているが、清潔保持の目的だけでなく一人ひとりの健康状態・自立度・タイミングに合わせて、気持ち良く楽しんで入浴ができる支援に取り組む。	清潔保持の目的だけでなく、利用者一人ひとりの体調や自立度に合わせた自立支援を行い、ゆったりと楽しむ入浴として、心の安定を図れる入浴支援を心掛けて取り組む。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。